

声を上げれば 政治は動く



西 ただす
【東灘区】

山本じゅんじ
【須磨区】

林 まさひと
【西区】

朝倉えつ子
【北区】

今井まさこ
【垂水区】

味口としゆき
【灘区】

松本のり子
【東灘区】

森本 真
【長田区】

希望ある年に

市民と野党の共同で

維持・
拡充へ

おいしくて **あたたかく**

みんなと一緒に食べられる 中学校給食の実現へ 力を合わせましょう

神戸市は、保護者と生徒に「中学校給食に関するアンケート」を実施。生徒からは、「食べない理由」として「おいしくない」が59.2%、「おかずが冷たい」が31.6%との意見があがりました。

また、保護者・生徒ともに「小学校と同じ学校調理にしてほしい」と答えています。

日本共産党神戸市議団は「保護者や子どもたちの願いにこたえるためには、現在のランチボックス方式をやめて、学校調理方式にすべき」と求めています。

昨年の12月議会で、教育長は「実施方式についても検討」を約束。小学校でつくった給食を中学校に配送する親子方式のモデル実施を表明しています。

みなさん、ごいっしょに温かく安全で、安心してみんなで食べられる中学校給食を実現しましょう。



今年中に10万筆
あつめよう！

9万筆もの神戸の中学校給食を実現する会の署名などが力に、スタートした中学校給食。今度は、あたたかい給食へ改善めざし10万筆署名に。

敬老パス・ 福祉パス制度は 高齢者無料券、近郊区上限、 母子世帯パスの存続を

神戸市は11月、敬老・福祉パスの「改悪」案を発表。この間、日本共産党神戸市議団と市民のみなさんが共同してとりくんだ署名運動が、「改悪」一辺倒の流れを押しとどめて、敬老パスの年齢引き上げや、福祉パスへの所得制限導入などは見送られました。

神戸市は、①敬老無料乗車券（年3万円）の廃止、②バス近郊区の110円上限を廃止、③母子世帯の福祉バスを廃止し、ひとり親世帯の高校通学定期補助に縮小など3つの方向に改悪を絞り、1月10日までの市民意見募集をへて、2月18日から始まる2月議会で改悪を強行しようとしています。

引き続き、敬老・福祉パス制度の改悪ストップへ、全力でがんばります。

市民意見募集は
こちら



2月議会までに
10万筆を！

敬老・福祉パス制度をよくする会が結成され、50日余りで2万4千筆あつめて市長に提出。「2月議会までに合計10万筆あつめよう」ととりくみをつよめています。

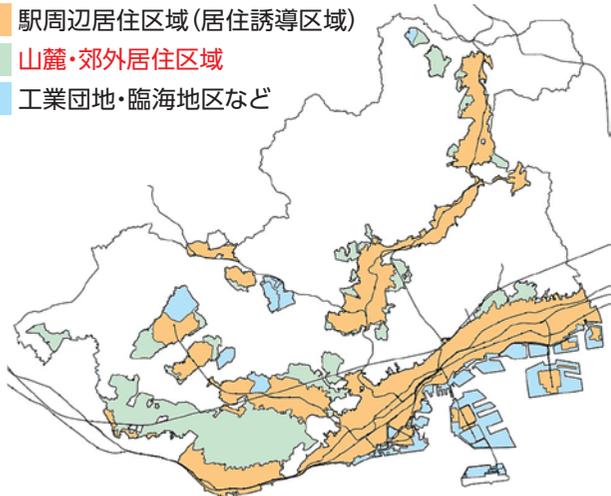
市民と日本共産党の共同の力で――

郊外・ニュータウン

切り捨てに“待った”!!

居住区域

- 駅周辺居住区域(居住誘導区域)
- 山麓・郊外居住区域
- 工業団地・臨海地区など



6月発表 都市空間向上計画(素案)

居住区域

- 駅・主要バス停周辺居住区域(居住誘導区域)
- 山麓・郊外居住区域
- 工業団地・臨海地区など



10月発表 都市空間向上計画(案)



神戸市都市空間向上計画

人口減少を理由に、鉄道駅等からの距離で住宅地を区別し、ニュータウンや郊外開発団地を切り捨てる「山麓・郊外居住区域」にする一方、都心や駅周辺にマンション開発を誘導し過密をおしすすめる計画で、安倍政権がすすめる「立地適正化計画」の神戸版。

豪華新庁舎や三宮巨大開発よりも 市民の税金は、市民の暮らしに

「桜を見る会」の問題について、神戸市民からも「私たちが払った税金を安倍首相は私物化している」「消費税増税で苦しんでいるときに許せない」などの批判がでています。

久元市長は、全国で例のない住民税増税を昨年6月に強行。さらに、「子どもの医療費無料が良ければ、三木や明石に引っ越したらいい」(職員研修での市長発言)、「敬老パス改悪と母子福祉パス廃止で」新たな負担を市民の皆さんにお願いする」など冷たい姿勢で、子どもからお年寄り、働く世代まで、全世帯に新たな負担をおしつけています。

その一方で、三宮や駅前には「都市機能

誘導区域」として、巨額の税金投入で、マンション誘致や商業、医療、文化、行政機能を移転集約させ、一極集中の再開発をすすめています。

タワーマンション頼みの駅前再開発は地域活性化に逆行

市長は人口誘引策として名谷・垂水・西神中央の3駅近隣に5000人分のタワーマンションを誘致する駅前再整備を発表しました。

しかしこの間、駅前にマンションを建てても、市内・近隣からの引っ越しが多数を占め、近隣住宅の空き家が増えて地域活性化に逆行する結果にもつながっています。

市民の税金は市民の暮らしに――。保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備など。日本共産党神戸市議団は、引き続き、市民の皆さんと力を合わせて、高齢者から、子どもまで、9つの行政区どのまちでも住み良い神戸の実現へ頑張る決意です。

神戸市が進める駅前一極集中の再開発計画

都心・三宮駅	三宮バスターミナルビル	1000億円
	市役所庁舎や中央区役所移転など 公共施設の再編	700億円
駅前再開発(先行)	その他、元町・県庁再整備、三宮駅前の2号館封鎖計画、ウォーターフロント再整備、文化ホール移転など	
	垂水駅	垂水駅では、新たなマンション建設で、小学校の過密化や待機児童の偏在化、機能集約によって体育館を利用できない市民がでるなどの問題がでています。
	西神中央駅	
	名谷駅	
	鈴蘭台駅	
	谷上駅	
神戸駅		



須磨海浜水族園につづき王子動物園までも

「観光リゾート戦略」で儲けの道具に



市民の公共施設で、子どもたちの「教育施設」である須磨海浜水族園(スマスイ)が、民間大企業のリゾート開発事業として売り渡されようとしています。

民間提案では、新料金は大人3,100円、小中学生1,800円と大幅値上げ、のびのびパスポートでの無料入園ができなくなります。また、国際的に批判が高まっているシャチショーに特化しようとしています。

12月議会では王子動物園も問題に。自民党市議の「魅力化のために民間再整備を」との提案に、久元市長は「検討を進めるとともに、料金を見直し、まずは市外の子どもの無料の有料化に着手する」と答弁しました。

こうした背景には、「魅力ある公的施設を世界に大胆な開放」とした安倍政権の観光戦略の、地方への押しつけがあります。

須磨海浜水族園や王子動物園の、民間再整備や値上げは、撤回すべきです。



子どもの人権第一に立て直しを

教員間いじめ暴行など学校教育問題

須磨区の小学校の教員間いじめ暴行問題について、日本共産党神戸市議団は同校の保護者から直接聞いた、思いや願いをもとに、緊急の対応策の実施や学校と教育の立て直しに全力を上げています。

議会では「今回のいじめ・暴行、人権侵害は絶対に許されない」としたうえで、加害教員が担任だった児童が布団の中で泣いていたことなどから「なによりも、児童や保護者の心のケア、被害教員への二次被害防止を優先すべき」と求めてきました。

12月にもケア対策の緊急要望をおこな

い、神戸市教育委員会から、スクールカウンセラーの配置時間の延長や、新たな担任クラスへの援助を強化するとの回答も返ってきています。

また、六甲アイランド高校の自死未遂問題もあわせ、子どもの人権が尊重されない問題にメスを入れる必要があると指摘。教育長も「子どもの権利条約を活かすことを含め、検討していきたい」としています。

ひきつづき、子どもたちが大切にされる教育と学校の実現へ、保護者や地域の皆さんと語り合い、頑張る決意です。